

平成27年（2015年）第3回市議会定例会本会議（9月16日）

## 予算決算常任委員長報告（議案）

ただいま議題となっております議案のうち、予算決算常任委員会に付託されました議案第99号及び第101号の以上2件につきまして、委員会における審査の経過と結果を報告します。

本議案は、8月19日の予算決算常任委員会理事会において、担当する各分科会に送付することを決定し、9月2日及び4日の分科会において、詳細な審査を行いました。

これを受け、委員会は、9月10日会議を開き、各分科会委員長の報告を聴取しました。

次いで、質疑及び総括質疑はなく、討論において、藤野英明委員から、議案第99号について、「第1に「走水低砲台跡等活用事業」については、歳出に「携帯アプリ開発の業務委託」や「タブレットPCの購入」が含まれているが、ICT技術はすぐに新しくなる中で、アプリもタブレットPCもすぐに古くなり、「先駆性」を要件とする交付金の目的にも合致しない。重点的に予算を充てるべきは「走水低砲台」の意義を適切に伝えられる人材育成であること。第2に「創業・経営改善支援事業費（ICT関連ビジネス育成事業）」については、「クラウド

ソーシング」を活用したビジネスは諸外国ですでに長年にわたり実施されてきたが、「デジタル内職」とも言われるなど、今では弊害もあり、この事業の目的であるICTビジネス関連の創業やスタートアップとは全く無関係な、単純労働者がまた増えるだけであること。第3に「横須賀リサーチパーク推進事業費(オフサイトミーティング推進事業)」については、「オフサイトミーティング」は、あくまでも一過性のものであり、自社や事業拠点ではない所で一時的に実施するからこそ意味があるものであるが、それにもかかわらず長期的ゴールを横須賀リサーチパークへの市外企業の誘致に置いていることは完全に的外れとしか言えないこと。また、反対したどの事業も財源は国の「地域住民生活等緊急支援のための交付金」で、地域に暮らす市民生活を緊急に支援するためにこそ使うべきものだが、いずれの事業も横須賀市民の生活を守ることにはつながらないこと。以上から、3事業に対する市税投入は不要との結論のため、議案第99号に反対する」旨の意見があり、採決の結果、議案第99号及び議案第101号の以上2件は賛成多数で、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

以上で報告を終わります。